

岡山市子ども・子育て支援プラン（平成29年度～令和元年度）＜数値目標＞の進捗状況

柱1 仕事と子育てが両立できる環境づくり

(1)仕事と子育ての両立のための基盤整備 【重点施策1】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
通常保育事業	保育園等での2号・3号認定の受け皿	17,383人 (H30.4.1)	18,697人 (H31.4.1)	19,810人 (R2.4.1)	19,000人
保育所や認定こども園等の整備により、保育の受け皿確保を進める。					
延長保育事業	延長保育実利用人数（私立）	5,878人	5,818人	6,009人	5,794人
概ね順調。 量の見込み：令和2年度5,937人 令和3年度6,050人 令和4年度6,149人 令和5年度6,003人 令和6年度5,861人					
病児保育事業	病児保育年間延利用者数	6,676人	5,581人	6,074人	7,651人
概ね順調。 量の見込み：令和2年度14,466人 令和3年度14,165人 令和4年度13,903人 令和5年度13,726人 令和6年度13,524人					
地域型保育事業等	地域型保育事業等利用者数	372人	819人	1,004人	1,713人
新設の事業所開設等により、保育の受け皿が申し込み数を上回っているが、待機児童の解消には至っていない。令和3年4月までに3事業者が新たに開園する予定。					
最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業	市立幼保連携型認定こども園移行数	11園 (H30.4.1)	12園 (H31.4.1)	16園 (R2.4.1)	30園
令和2年度に4園が市立幼保連携型認定こども園へ移行し、令和2年4月1日時点で16園が開園した。事業の見直しにより、市立幼保連携型認定こども園の整備を中学校区に1つに変更したことで、整備目標が計36園となった。また並列園の解消に向け、地元説明などが進行中である。 令和3年度には1園、令和4年度には2園が開園する予定である。					
保育環境整備事業（保育園文書・用品等集配業務）	保護者相談・支援対応の実施回数	1,829回	1,753回	1,884回	1,800回
令和元年度は保護者からの相談件数が前年度より増加した。令和2年度は、引き続き、保育士から保護者への声かけや聞き取りなどの働きかけにより、同水準の対応件数を目標とする。					
免許資格取得支援事業	免許資格未取得者数	43人	20人	9人	0人
27年度より毎年数名ずつ免許・資格を取得しているため目標値の0人に近づいている。令和2年度には未取得者数0人を目指したい。					
保育士確保支援事業（保育士・保育所支援センター事業）	潜在保育士登録者数	140人	104人	86人	毎年度130人
概ね順調。 令和2年4月での待機児童解消は実現できておらず、保育士確保は喫緊の課題である。 セミナー・研修等を継続的に実施し、地道に働きかけるしかない。					

放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブ利用児童数	6,831人	7,313人	7,815人	8,542人
積極的な施設整備を行ったことにより利用児童数は増加傾向を続けており、来年度は更なる増加を見込んでいる。					
放課後児童クラブ施設の充実	施設確保が必要な児童クラブ数 (1.65㎡未満/人)	44施設	42施設	41施設	0施設
令和元年度末までに56クラブ(3クラブが令和2年度に繰越)を整備し、令和2年度4月時点では令和元年度の整備対象クラブは19クラブと見込んでいる。令和2年度以降も引き続き整備を行う。					

柱2 子どもと子育て家庭への支援

(1) 母子保健等の充実		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
こんにちは赤ちゃん事業	訪問率	97.6%	97.0%	97.3%	100%
おおむね順調に訪問率が達成できている。100%の訪問率を達成したいところであるが、最近の傾向として里帰りが長くなっていることもあり、目標をなかなか達成できていない現状もある。					
養育支援訪問事業	訪問実施実人数	23人	33人	37人	35人
おおむね順調に訪問実数がふえている。核家族化が進み、育児力が弱くなっている家族が増えている中で、今後も訪問数増えていると見込まれる。					
乳幼児健康診査	健康診査受診率〔3～5か月児〕	92.4%	94.6%	94.7%	97%
	健康診査受診率〔1歳6か月児〕	95.2%	95.2%	94.3%	96%
	健康診査受診率〔3歳児〕	94.8%	94.0%	93.8%	94%
現状維持。目標達成に向け、受診勧奨など行っていく。					
妊婦一般健康診査	利用者数	6,486人	6,042人	5,958人	6,589人
少子化が進む中で受診者数は減少傾向にある。子育て世代包括支援センターでの妊娠届出時の全数面接により妊婦健診の受診について説明をし、引き続き妊娠中に継続して妊婦健診がうけられるよう受診勧奨を行っていく。					
(2) 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援 【重点施策3】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
一時預かり事業	一時預かり延利用者数	55,935人	50,279人	31,665	80,133人
令和元年度までの一時預かり事業の数値は「一般型」のみを対象としていた。令和2年度以降の数値は「幼稚園型」も含めた数字で計上している。一般型は「産休退園要件」の緩和、保育園の認定こども園への移行等によって減少傾向。幼稚園型は新制度への移行、認定こども園への移行・設立によって、今後も増加が見込まれる。 量の見込み：令和2年度85,620人 令和3年度90,786人 令和4年度95,209人 令和5年度101,597人 令和6年度110,004人					

ファミリーサポート事業	会員数	2,783人	2,793人	2,689人	3,370人
令和元年度は平成30年度に比べ会員数が減少しており、目標には届いていない。依頼会員は子どもの年齢にともない、常に変動するため、引き続きの周知活動が必要である。また、提供会員についても引き続き募集を行い、事業の安定的な実施を目指す。					
子育て短期支援(ショートステイ)事業	延利用日数	981日	841日	621日	1,050日
ショートステイの利用の理由の約6割は「育児疲れ」、次いで1割強が「疾病」であり、子育ての負担感を和らげる支援として効果を上げている。					
シルバー世代産前産後応援事業	利用登録者数	138人	133人	140人	150人
利用しやすい制度の見直しや広報紙等の周知により、利用者が増加している。令和2年度からは手軽に申請できるよう電子申請を導入し、利用登録者数を増やしていく。					
利用者支援事業	支援員数	10人	10人	12人	10人
令和2年4月の待機児童ゼロを目標に、平成27年度以降、毎年度10人の保育利用者支援員を配置して、保育利用を希望する保護者への“寄り添う支援”に取り組み、待機児童の減少に寄与してきた。令和元年度には、令和2年1月から3月まで一時的に支援員を2人増員し、待機児童の解消に向けて“寄り添う支援”を強化したが、幼児教育・保育の無償化に伴う入園申込者の増加と保育士不足の影響により、待機児童ゼロは達成できなかった。今後は、令和4年4月の待機児童ゼロを目指し、令和2年度以降も引き続き10人の支援員配置を基本として、“寄り添う支援”の充実に取り組む。					
子育て応援サイト(こそだてぼけっと)運営	年間アクセス件数	1,153,277件	1,271,694件	1,290,634件	1,200,000件
目標値は達成したが、毎年サイトの対象から外れるユーザーがいることを鑑み、新規ユーザーの獲得、対象ユーザーに継続的にアクセスしてもらえるサイト作りに努め、令和2年度以降も目標を達成できるように努める。					

柱3 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

(1)地域社会の子育て力を高める 【重点施策4】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
心豊かな岡山っ子応援団	賛助団員数	81団体	58団体	69団体	90団体
令和元年度は平成30年度に比べて賛助団員数は増加した。寄附金による賛助団員については1年限りのため、企業、団体に対して賛助団員になってもらえるよう周知を行い、目標達成に向けて現在の事業を推進する。					
地域子育て支援センター	利用者数(H29年度は0～5歳児,H30年度は0～2歳児)	88,787人	68,781人	60,032人	39,090人
目標値は達成しているが、利用者数は減少している。利用者の獲得、利用者継続的に利用してもらえるよう、引き続き周知や研修等を行う。					

(2) 安全・安心の地域子育て環境の整備		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
プレーパーク普及事業	開所箇所数	常設1か所 臨時8か所	常設1か所 臨時8か所	常設1か所 臨時8か所	常設1か所 臨時8か所
<p>今後は、プレリーダーの養成講座を縮小し、養成講座を受けたプレリーダーが各地域で継続的な活動ができるよう支援を行っていく。</p>					
(4) 生活や学習の基盤づくり		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度 (目標値)
食育の推進	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	82.4%	82.2%	84.3%	100%
<p>中学校区や学校単独で栄養教諭・学校栄養職員が中心となり、児童生徒や保護者対象の料理教室及び食育活動のスクールランチセミナーを実施し、望ましい食習慣を身につけさせるように取り組んでいる。</p> <p>また、平成28年に作成した「岡山市の基本的な食に関するカリキュラム」を各学校の全体計画に盛り込み、学校長のリーダーシップの下、栄養教諭・学校栄養職員を中心に学校全体で組織的に食に関する指導に取り組むよう体制整備を図っている。</p>					
(8) 地域に開かれ信頼される学校園づくり 【重点施策5】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和7年度 (目標値)
地域協働学校の推進	地域協働学校指定中学校区	31中学校区	33中学校区	38中学校区	38中学校区
<p>令和元年度には、5中学校区が新たに地域協働学校運営協議会を立ち上げた。設置したばかりの学校園には、地域や教職員を対象とした研修会を行うなどして設置に向けての支援を行った。令和2年度は、事業の目標値を見直し、各学校運営協議会の活性化のに向けた取組を進めていく。</p>					
柱4 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援					
(1) きめ細やかなサポートを必要とする子どもや家庭への支援 【重点施策6】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
要保護児童対策	要保護児童進行管理件数	1,326件	1,472件	1,476件	1,800件
<p>横ばいに推移しているのは、通告数の大幅な増加がなく、状況改善等で終結をするという進行管理が適切にできているため。</p>					
柱5 若者の健全な成長と自立の支援					
(2) 若者の社会的自立支援 【重点施策8】		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度 (目標値)
出合いのひろば事業	事業参加者の内結婚報告数	12件	12件	12件	延べ15件
<p>ここ3年間結婚報告がなかったため、イベント時に報告していただくよう、より一層の周知に努める。事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、令和2年度からは指標の見直しを行う。</p>					